

校訓 進取 努力 創造

○学校長あいさつ

令和3年(2021年)4月1日 校長 白石 秀史

岐阜県立多治見高等学校のホームページによるこそおいでくださいました。

本校は、大正12年の「岐阜県多治見町立高等女学校」を前身に、学校統廃合や学制改革等、幾多の変遷を経て、昭和23年に岐阜県立多治見高等学校となりました。その後、さらに昭和35年に岐阜県立多治見女子高等学校となり、昭和55年に現在の岐阜県立多治見高等学校が設立されました。来る令和4年(2022年)には創立100年目を迎える県下でも有数の伝統校であります。その間、3万人近い卒業生のみなさんが本校を巣立ち、地元の経済や産業のみならず、日本国内外で活躍しています。

本校は「進取・努力・創造」を校訓とし、教育目標として「自ら未来を切り拓き、社会に貢献できる人物の育成」を掲げ、(1)一歩前に踏み出す行動力、(2)粘り強い探究力、(3)ともに高め合う協働力という3つの力を身に付けるべく、約580名の生徒諸君が、日々学業や部活動に励んでおります。

平成30年の4月から、より生徒の将来の進路選択のニーズに応えるべく、進学重視型単位制普通科高校として新たな歴史を刻むことになりました。これまで脈々と流れている多治見高等学校の伝統を重視しつつ、新しい時代の流れを積極的に進取し、日々努力し続けることで、新たな歴史を創造していきます。令和元年度には、本校が取り組んでいる探求ゼミの一つである土岐川ゼミの研究が、第8回エコワングランプリにおいて内閣総理大臣賞(全国一位相当)を受賞することができたことは、その証の一つであると自負しております。

このホームページには、本校の教育方針、学校行事、進路状況、学校評価、多治見高生の活躍等、様々な情報を掲載しております。どうぞ、このホームページをご覧になり、本校についてのご理解を一層深めていただくとともに、ご忌憚のないご意見をいただければと思っております。これからも生徒一人一人を全力でサポートするとともに、保護者の皆様や地域の方々の期待と信頼に応えるべく本校教育の邁進に努めてまいりますので、どうぞ理解とご協力をお願いいたします。

